

# 大規模災害時に向けた 公衆衛生情報基盤の構築

国立保健医療科学院  
健康危機管理研究部 主任教授、石室雅浩  
研究支援情報センター 水島 洋

## 東日本大震災と阪神大震災の違い

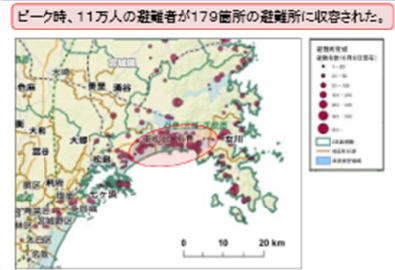
	東日本大震災 (震源地: 2011年3月11日)	阪神大震災 (震源地: 2000年1月17日)
<b>災害の特徴</b>	避難所生活の長期化に伴う 公衆衛生対策の必要性	クラッシュ・遺失物処理にともなう 避難者への救命・救傷の必要性
発生日時	2011年3月11日	1995年1月17日
マグニチュード	9.0 (海溝型)	7.3 (直下型)
被災者数	25,661	50,219
死者数	15,822	6,434
重軽傷者数	5,942	43,792 *
行方不明者数	3,897	3
避難者数(1週)	386,739	316,678
避難者数(6月)	73,249 *	17,569

## 災害時における公衆衛生上の課題

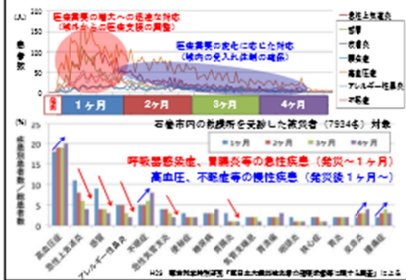
一事前に行動計画を立案し備えておくべき事項一



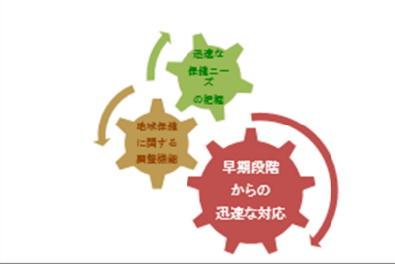
## 広域に分布する被災者支援をいかに最適化するか



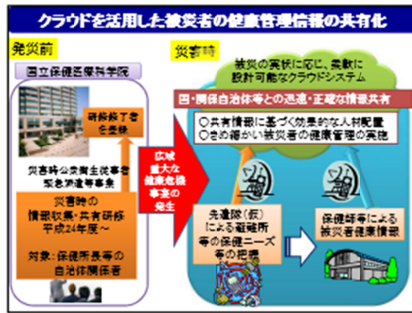
## 発災後の医療供給量の評価と対応



## 東日本大震災への対応を踏まえた大規模災害時の保健活動のあり方







**2013 World Disasters Report 2013**  
Focus on technology and the future of humanitarian action

**World Disasters**  
Focus on technology  
future of humanitarian

ご清聴ありがとうございました